



木の文化を 支える森

協定の名称

イウォンネシリ
(狩り場となる空間)

実施主体

白老町

白老町が胆振東部森林管理署ポロト国有林で、アイヌ文化の伝承、保存及び普及啓発を目的に、アットウシ（オヒョウなどの木の内皮の繊維を織ったアイヌの織物）などの材料となる、特定樹種の資材を確保するための森林整備活動として、植樹、下草刈、鹿対策のネットの補強などを行っています。

